

事業所名

キッズウィル plus

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和6年

10月

4日

法人（事業所）理念		自立）個々の可能性を最大限に引き出す 貢献）自立で社会参画へ 喜び）他者、社会へ貢献することで自身の喜び、成長へ 平和）喜びのあふれる平和な社会へ											
支援方針		共に学び、共に成長する） 個々のニーズに応じた支援を通じて、子どもたちの可能性を最大限に引き出します 子どもたちとその家族、そして地域社会と共に学び、成長することを目指します 安心・安全な居場所の提供） 子どもたちが安心して過ごせる安全な居場所を提供します 信頼できるスタッフと共に、心身の健やかな発達をサポートします 未来を創る力を育む） 子どもたちが自ら未来を切り拓く力を育むことを使命とします 創造力と自立心を育てるプログラムを通じて、子どもたちの成長を支援します											
営業時間		月～金 土	11 09	時 00	00	分から	18 16	時 00	00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	鏡を見るなどの身なりを整える等の生活を営む上で必要となる基本的技能の習得に対して支援していく 利用時に、検温・学校での様子からの健康状態のチェックと必要な対応を実施 また、利用中に体調の変化がある場合には適切な対処（例：医療機関への受診、保護者への状況の報告など）を行う 持ち物の管理、整理整頓、スケジュールの確認の習得に向けて支援を行っていく											
	運動・感覚	遊びを通して、日常生活・学習に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善を促していく 長時間利用などの際には地域の体育館や自然環境（川）、公園などを積極的に活用していく 子どもの発達段階及び特性に配慮した視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるような遊び（新聞遊び、風船、スウィング等）を実践していく ボディイメージや姿勢の保持のための活動（かくれんぼ・綱引き・キャッチボール等）、瞬発力・判断力・適正な力加減											
	認知・行動	認知機能の発達を促すために、コグトレワークや制作活動・クッキングや身体遊びを支援プログラムとして取り入れていく 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動に対して、人員・環境調整など予防策を講じ、好ましい行動の獲得に向けた支援を行う 空間認知・構成力/道具の操作性/力加減											
	言語 コミュニケーション	活動を通して、自分の置かれている状況の理解と意思の伝達ができる機会を積み重ね体験していけるように、環境及び関わり方の調整を実施していく 個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う 要求・応答の獲得、ルールの視覚化による理解のしやすさなどの調整を行う											
	人間関係 社会性	人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を実践していく 子どもの発達段階に応じた感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びの環境を整え、その上で、次の発達段階として見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びへ促すための 関わり方を提案し支援者が実践していく中で、徐々に社会性の発達を支援する 役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びといったスモールステップでの遊びの育ちを促し社会性の発達を支援する											
家族支援		家族支援は、家族が安心して子育てを行うことができるよう、 ご利用後にその日の様子をお知らせしています 面談や、保護者会等の開催					移行支援		学校等、情報交換、共有・連携 就学・進路に関する情報提供				
地域支援・地域連携		教育機関の関係者等との連携 地域支援の体制の構築のための会議への出席 法人内の事業所と交流					職員の質の向上		強度行動障害研修 定期的な発達特性の理解のための研修				
主な行事等		地域で開催されるお祭り等への和太鼓演奏の参加 保護者向けの勉強会・情報交換会・療育参加/参観 季節ごとの行事の実施											